

第3回下川町総合計画審議会（産業経済部会） 会議録

日 時 令和3年11月17日（水）

18：40～19：50

場 所 総合福祉センター「ハピネス」

〈政策推進課〉

出席者（委員）：及川部会長、三津橋副部会長、筒渕委員、渡邊委員、山田委員

出席者（町）：田村課長、平野主幹、山本主幹、渡邊主査、杉山主事

公共施設名 五味温泉

町：内容説明

委員：五味温泉の売店がリニューアルされ、利用者が増えていると聞いている。商品を置いていただいている事業者からすると、午後9時まで販売してくれる場所は大変貴重である。五味温泉から事業者へ取扱商品の募集など周知をして欲しい。

町：五味温泉と協議したい。

委員：SNSを利用した五味温泉のPRも検討して欲しい。

委員：軽症のコロナ感染者を受け入れる考えはあるか。

町：感染者をケアする体制を整える必要があり、現状では難しい。

委員：コロナの感染拡大の影響で、宿泊施設を長期休業する場合、従業員の雇用は守られるのか。

町：宿泊施設持続化給付金を支給し、雇用継続の支援をしている。

公共施設名 恵林館

町：内容説明

委員：恵林館は、他の施設同様、譲渡の考えはあるのか。

町：譲渡の考えはゼロではないが、まずは利用を高めていきたい。地域おこし協力隊が利用を検討している。

公共施設名 特用林産物栽培研究所

町 : 内容説明

委員 : 民営化した場合、公債費の残額はどこが負担するのか。

町 : 民営化を受けてくれる事業者の負担を大きくしたくない。町が負担するのが妥当である。

委員 : ハウスの耐用年数は8年程度であるが、民営化する時には、町が更新費用を負担するのか。

町 : 収益の状況によるが、町の負担を考える必要はあると考える。

委員 : 民営化した場合、現在の雇用者数を維持するのか心配である。

委員 : イチゴを栽培する建設業者にハウスを1棟貸すと聞いているが、椎茸栽培に影響は出ないのか。

町 : 椎茸を栽培しているハウスを貸す訳ではないので、問題はない。

公共施設名 木工芸センター

町 : 内容説明

委員 : 民間移行する考えは、活きているのか。

町 : 民間移行した方が、施設の利便性が高まるのであれば、民間移行も含めて考えていきたい。

委員 : 木に携わる施設なので、子ども達が木に触れることが出来ると良い。

町 : 子どもが木に触れる機会については、地域共育ビジョンと連携して検討していきたい。